［大崎市立沼部小学校］　**校長室だより**　　令和７年７月１６日（水）

目指す学校
○学ぶ喜びのある学校　○挨拶が飛び交い歌声が響き合う明るい学校　○安全安心で生きがいと行きがいのある学校
○新たな教育の実践事実を生み出す創造的な学校　○保護者に信頼され、地域に応援される特色のある学校

子供たちが「今」興味を持っていることを大切に・・・

人は何もできない状態で生まれてきます。それが少しずつ成長し、だんだん自分自身でできることが増えていきます。子育てとは、生まれたばかりの時は「心配１００％で信頼０％」であった子供に少しずつできることを任せていって、18 歳で「心配０％・信頼１００％」となるように育てることだそうです。そのためには、「失敗覚悟で任せてみる」「食事の準備など、家庭生活に必要なことをお手伝いではなく、役割として任せていく」ことなどが大切です。夏休みは、お子さんが自分でできることを増やす絶好の機会です。

私の好きなテレビ番組に、「サンドウィッチマン＆芦田愛菜の博士ちゃん」という番組があります。ご存知の方もおられると思いますが、小中学生ぐらいの子供が自分の好きなものについて語り、その魅力について大人（サンドウィッチマン）に授業（プレゼン）を行うという番組です。本当に様々なものに興味を持っていることに感心するとともに、そこに出る子供たちの共通点は、「好きだからよく学んでいる」という点です。この前は、全国の珍しい信号機に詳しい“信号機博士ちゃん”やいたるところに生えている雑草の中にも美味しく食べられる雑草があることを教えてくれた“雑草博士ちゃん”が紹介されていました。他にも、あることが“好きすぎて○○を集めちゃった博士ちゃん”、“好きすぎて○○を作っちゃった博士ちゃん”、“好きなものを調べ尽くし自宅で○○になりきっちゃった博士ちゃん”など、たくさんの博士ちゃんに番組で出会いました。その都度、「子供の好きや好奇心って本当にすごい」と感じました。

「好きなもの」を持つこと、例えばダンスをしたり、料理をしたり、マンガやアイドルに夢中になったり･･･等、子供たちが「今」興味を持っていることは、必ず大人になって自分の強みとなり、子供たちのこれからの人生を豊かにしてくれるでしょう。夏休みを大いに活用して、子供たちが今興味を持っていることをとことん追求させてみてほしいと思います。

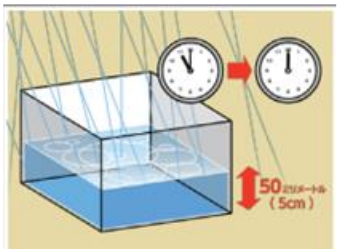
●夏休みを安全に過ごそう　＜天気予報を上手に活用しましょう＞

『降水確率 50 パーセント』とは･･･　『降水量 50 ミリ』とは･･･　知っていますか？

天気予報の降水確率とは、降水量1㎜以上の雨または雪が降る確率のことだそうです。『降水確率50%』だったら、今日と同じような気象条件で過去100回のうち、約50回は1㎜以上の雨が降ったということで、雨の強弱は関係ないそうです。

雨の強弱は、降水量で分かります。降水量は、「たて1m×よこ1mの箱に、1時間にたまる雨の量」です。『降水量1㎜』の雨とは、この箱に水深1㎜の水がたまることですから、たて 100 ㎝×よこ 100 ㎝×高さ 0.1 ㎝となり、計算すると水の量は 1000 ㎤（＝1L）です。 ※1L･･･牛乳パック１本分

仮に傘が四角い１㎡だと想像してみると、その上に牛乳パック１本分の雨が１時間に降るわけですから、降水量１㎜でも、それなりの雨の量と分かります。



最近の豪雨災害では,『降水量50㎜』を超える雨が観測されることがあります。『降水量50㎜』の雨とは、1時間に牛乳パック50本分の雨が降る強さです。降水量1㎜が牛乳パック１本分の雨の量と覚えておくと,降水量が何㎜かで雨の強さがだいたい予想できます。